

愛媛県立松山北高等学校中島分校

第77回 入学式

式 辞

瀬戸の海を吹き渡る風、間近に見る海の色、島々の草木の若葉にも春の息吹を感じられる今日の佳き日に、御来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和6年度愛媛県立松山北高等学校中島分校 入学式を挙行できますことは、在校生並びに教職員一同にとりまして大きな喜びであります。学校を代表してお礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました26名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大きな可能性を秘めた皆さんに出会えて、たいへんうれしく思います。

中島分校を選んでくれた皆さんは、おそらく、この学校のことをとでもよく調べ、知って、来てくれたものと思います。77年目を迎えたこの中島分校には、創立当時から「無から有を創り出す」という校是があります。創立に際して、向学心に燃える先人が、町や地域の人々を動かして高等学校設置の請願を行い、創られた学校です。時代がどのように変わっていくかわからない今こそ、当時から継承されてきた「開拓者精神」が必要です。伸び伸びと学校生活を送ることができこの場所から、新たなものを生み出すことに貢献できる人材が育つことを願っています。

そして、もう一つ。文武両道という言葉はよく聞くとお聞きですが、本校はそこに「心」が加わっています。「文・武・心」です。心が強く、美しくないと、これから生きていく中で、周りに自分の本性を見透かされてしまいます。中島分校では、友人だけでなく、教職員、地域の方々との距離が近いいため、多くの方々と心の交流ができ、刺激を受けることができます。心を育てるには、大規模校より、適しているかもしれません。また、通学時間も心を整える良い時間となります。一見、デメリットに見えるところが、皆さんの行動次第で、メリットになります。私なら、読書と英語のリスニング、友人との会話を満喫します。電車や船の時間をどう過ごすか、それぞれ考えてみてください。さうい。

保護者の皆様、お子様のご入学、まことにおめでとうございます。お子様の成長を願い、深い愛情を注がれ、ともに喜び、辛いことも分かち合う中で、親として支え、励ましてこられたことに、深く敬意を表します。不安なお気持ちもあると思いますが、皆様のお気持ちに、我々教職員が寄り添うことができたら幸いです。昨年12月発行の中島分校新聞に掲載された、ある保護者の言葉を紹介します。

「爽やかな秋晴れの文化の日、朝一番のフェリーで島へ向かった。青い海、紅葉が始まった島の山並みに心癒される。息子は毎日、こんな素晴らしい景色を眺めながら通学しているんだ、なんとぜいたくと感じた。息子は幼少期から自分のペースで成長してきた。そのため、彼の個性を最大限尊重してもらえる場所を探し続けた日々だった。島の分校では、いつも優しく見守って

くださる先生方、個性豊かで笑顔あふれる生徒たち、学校に協力的な地域の方にも恵まれ、息子の個性の花は確実に大きくなりつつある。」

新入生の皆さん、この春に卒業した先輩の中には、滋賀大学に合格した卒業生もいます。勉学や部活動、友人や地域との交流、そして教職員との触れ合いで、明るい未来を信じましょう。中島分校での生活が、かけがえのない財産になることを祈念して、式辞といたします。

令和六年四月八日

愛媛県立松山北高等学校長 井上 浩